年度末報告書（実行団体）

● 提　出　日　：　令和４年４月４日
● 事　業　名　：　子ども食堂ネットワーク北九州機能強化事業
● 資金分配団体　：　一般社団法人全国食支援活動協力会
● 実 行 団 体　：　一般社団法人コミュニティシンクタンク北九州
● 新型コロナウイルス対応緊急支援助成（通常枠での追加助成）の有無　：　☑有　☐無

① 実績値

【資金支援】

アウトプット	指標	目標値	達成時期	現在の指標の達成状況	進捗状況＊
0101.「こども食堂等居場所」を支える多様な人材が主体的に関わり，各役割が整理され，ヒト・モノ・カネ・情報等が集まる体制ができる	①各役割を主体的に担う人材が増え業務内容が整理され実践している ②企業・団体・個人からの寄付が増加	①7名/子ども食堂ネットワーク北九州に関わる人材が増え、業務分担ができ、業務が円滑に実施できている ②寄付件数 50 件	2023 年 2 月	①コーディネーター４名、アドバイザー2 名、市職員３名、ハブ拠点 4 名（1 名コーディネーター兼務）　ロジハブ事務 2 名、会計事務１名の計１６名 ２０２０年度は、官民合わせて 4 名でネットワーク運営を展開していたが、子ども食堂の増加及び２０２１年度に本格的にロジハブ拠点の運営を開始して以来、人数を増員し、現在は１６名で行っている。役割分担としては、市は主に企業との連携、イベント企画、基金運営、助成金申請サポート、新規開設支援を行っており、コーディネーターは主に子ども食堂の開設及び運営相談及び運営サポート、学生ボランティアサポー	1

				ト、ロジハブの運営サポート、寄付食材の分配など、 アドバイザーはネットワーク運営のアドバイス、市外団体との連携、ロジハブ拠点は食材の運搬及び子ども食堂への受け渡しなど官民の強みを活かした運営をしている。また新規開設及び寄付食材が増加したことにより寄付食材の管理要員が２０２２年２月より新たに加わった。 ②２０２０年度は寄付件数９０件あまり、２０２１年度は１００件を超えている。要因としては、ロジハブを活かすため、ロータリークラブやライオンズクラブなどの慈善団体やSDGs 推進企業に事業説明を実施、 その結果、寄付金や寄付食材が大幅に伸びており、全国展開をしている企業からの定期的な食材提供や地元企業からの弁当提供などの機会を得ることができた。また、地元企業のキッチンカーを活用した子ども食堂への食事の提供や寄付型自販機の設置台数増加などにもつながった。さらに、市社協に基金制度を設けたことにより、寄付金を損金算入でき、寄付しやすい環境が出来たのも伸びた要因であり、２０２１年度の寄付金は８０件、６４０万円であり、寄付食材と寄付金合わせて１８０件の寄付をいただいている。	
0102. 地域に「こども食堂等居場所」を運営したいという担い手が増えるとともに,地域住民からの協力を得る事ができる	①子ども食堂の開設に係る相談件数や開設所数の増加 ②地域自治組織や地域で子ども食堂に関わる団体数	①20 団体/子ども食堂の開設に係る相談件数や開設箇所数の累計数 ②10 団体/子ども食堂に関わる地域自治組織の累計数	2023 年２月	①２０２０年４月～２０２２年３月末までに新規開設が８団体、相談件数は２１件。コロナ禍により開設を断念した団体も７団体ほどあり、さらなる開設につなげるため、きめ細やかな相談対応を行っていく。また、ここ最近増えているのが市外の団体の相談であり、５団体程度からサポートの依頼を受けている。 ②子ども食堂に関わる自治組織は１９団体。新規開設相談に	1

				自治組織が関係しているケースが７割程度である。地域活動の活性化のつながる事業として期待をしている。	
0103.新型コロナウイルス感染拡大収束後もこども食堂等居場所が安定して活動できるようになる	①コロナ感染拡大で７割以上のこども食堂等居場所が活動を自粛している。 ②コロナ流行中の活動について、地域からの理解を得られる苦慮している団体がある。 ③コロナ感染拡大中の活動のための資金や物資を必要としているこども食堂等居場所がある。	①８割以上のこども食堂等居場所が新型コロナウイルス感染拡大収束後に無事再開することができている。 ②地域との繋がりを作るきっかけとなり、関係性が改善している好事例がある。 ③企業等からの支援を受け、コロナ渦中も無事活動ができ、収束後も安定的に活動できる状態がある。	2022 年３月	①４０ヶ所中３０ヶ所が再開もしくは開催。約７割。介護系の福祉施設の一部で等で再開が出来ていない。施設内での感染拡大を懸念している。２０２２年４月以降数ヵ所で再開の兆しが見られる。 ②このような時こそ居場所が必要との考えを持つ自治組織の後押しで、活動を再開。場所の提供（公民館）。地域自治組織からの開設相談の増加と開設。 市社協などがバックアップして、ひとり親家庭を中心にした子ども食堂の新規開設。場所の提供（福祉施設）。 ③地域慈善団体や企業などが財政基盤の弱い子ども食堂を中心に寄付金を贈呈しコロナ禍の子ども食堂や弁当配付事業などをバックアップ。企業からの基金への寄付が増え（前述）、助成金として子ども食堂に助成するなど財政的な支援により持続可能な活動につなげている。市民や企業からのボランティア参加についての問い合わせも増えており、２０２１年実績では、企業２件、一般個人 33 件、学生 12 件のボランティアの申し出がありマッチングをおこない人的な運営安定にも繋げている。	2
0104.こども食堂等居場所が生鮮食品を含む常温・冷蔵・冷凍の多様な食材の寄付を受けられるようになる	生鮮食品を含む冷凍・冷蔵品の寄贈食品・ロス食品の利活用実績として、 ①マッチングの物	①食材管理や食材提供する協力企業が増える。各拠点に、食材提供企業からの食材が冷凍車を活用し、冷凍。冷蔵拠点にストックされ、各子ども食堂が必要な時に取りに来ることができ、品物が受け	2021 年 10 月	①ネットワークと市役所で帳簿管理をしており、ロジハブ拠点のストック容量も十分確保できている。今後、北九州周辺地域への支援も視野に入れているため、ハブ拠点の機能強化を図る予定にしている。2021 年度は業務用冷凍冷蔵庫製造企業より冷凍冷蔵庫等を３台の寄贈があった。 ②寄付食品についてはメールと LINE で情報提供を行い、グ	1

	量 ②こども食堂等居場所への食材提供頻度 ③提供団体数（受け渡す側・受け取る側）の変化	渡し管理が帳簿上管理できている。 ②子ども食堂に入荷・在庫情報提供し、冷蔵・冷凍拠点にある食材を子ども食堂実施前に取りに来ることができる。 ③食材を受け渡す企業 10 社、保管 5 団体、食材が必要とされる全子ども食堂が受け取りをできる。		ーグルフォームを活用し、希望数調査後、ネットワーク事務局がハブ拠点への物量を決定するとともに冷凍車でハブ拠点に運ぶ。そのあと、ハブ拠点が子ども食堂に入荷のお知らせした後、受渡しができるようにしている。 ③食材の提供企業　２８社（フードバンク経由を含む）、保管はロジ４ヶ所、ハブ５ヶ所。ハブには全子ども食堂を紐づけしており、受取体制を整えている。 なお、食品の寄付については問い合わせなどが増えていることから、ロジハブ拠点の整備と活動内容の情報発信、しっかりとした衛生管理の徹底を行っていくことは、企業にとって安心して寄付ができる先として認知が進み、子ども食堂を通じて子育て世帯への食支援につながるものと思われる。	
0201.学校が「こども食堂等居場所」のことを伝えてくれるようになる	子ども食堂開設校区における学校の周知割合	7回/新規開設の子ども食堂における学校の協力割合が初期値と比較し増加している	2023 年 2 月	９回／新規開設の子ども食堂はすべて学校で児童へのチラシの配布できるようネットワーク事務局（北九州市子ども家庭局子育て支援課）がサポートしている。	1
0202. 学校以外の様々なところが「こども食堂等居場所」のことを伝えてくれるようになる	子ども食堂開設校区における学校以外の広報協力件数	8 回/既存+新規開設の子ども食堂での周知件数/子ども食堂数による割合が初期値より増加している	2023 年 2 月	９団体／100 回以上、自治会の回覧板での広報活動を行っており、配布などについて一部ネットワークがサポートを行っている。	1
0203.「こども食堂等居場所」が望む社会資源（商店会や児童館，学校，学童，こどもクラブなど）	子ども食堂に参加する社会資源の増加数	75 団体/社会資源の参加数が初期値比較で増加している	2023 年 2 月	９０団体／１子ども食堂あたり３団体程度とつながっている。主に小学校と自治会、商店会、企業、大学などとつながっているケースが多い	1

とつながることができる					
0301.「こども食堂等居場所」の活動者が十分なスキルを有している（ここでのスキルとは，こどもの話に耳を傾けるや色々な気づきを得られる，など様々）	子ども食堂からの相談件数とエピソード件数	100 エピソード/それぞれの子ども食堂が相談でき、エピソードを持つ	2023 年 2 月	５３エピソード 新型コロナ感染症拡大の影響を受け、子ども食堂の再開が約７割であるが、各子ども食堂には、子ども食堂への相談やエピソードが蓄積されている。 （2021 年 7 月子ども食堂運営者向け実施アンケート結果より）	2
0302 フードパントリー・お弁当配布のみ行う団体が居場所運営団体、コミュニティとつながれるようになる	フードパントリー等実施数	18 団体/子ども食堂の運営とともにフードパントリー・お弁当配布を中心に実施する子ども食堂数	2023 年 2 月	１７団体、ただし、5 団体は会食形式とパントリー形式の両方を実施	2
0303 こども食堂等居場所が食に関心を持つ機会を提供出来る様になる	子ども食堂運営者に向けた食に関する研修会実施回数	①5 回/子ども食堂運営者に向けた食育研修等の開催累計数 ②30 エピソード/子ども食堂に参加する子ども達からの食に関心を持つエピソード累計数	2023 年 2 月	①2 回 新型コロナ感染症拡大の影響を受け、食育研修などが中止となったことにより計画より進捗が若干遅れている ②1２エピソード 友達といっしょに食事をすると楽しい、嫌いものが食べられるようになったなどの声が寄せられている。 （2021 年 7 月子ども食堂運営者向け実施アンケート結果より）	3

0304 こども食堂等居場所が学び・交流などの多様な体験の場を提供できるようになる	イベントの実施及び研修会の参加人数	5回/食に関するイベントや見学会の開催や参加数	2023年2月	6回 子ども食堂と防災研修、学生部会による県外研修、子ども食堂運営者向け研修（2回）、子ども食堂協力企業との研修会、食でつながるフェスタ（2回）など実施し、累計で440名が参加した。	1

＊進捗状況：1 計画より進んでいる 、2 計画どおり進んでいる 、3 計画より遅れている、4 その他

② 事業進捗に関する報告

1.事業計画に掲げた短期アウトカムの達成の見込み
1.達成の見込み
2.アウトカムの状況
A：変更項目 ☐変更なし ☑短期アウトカムの内容 ☑短期アウトカムの表現 ☑短期アウトカムの指標 ☑アウトカムの目標値
3. 活動に関する報告
2021年度も新型コロナウイルス感染症の影響を受け、子ども食堂の再開や休止を繰り返す中、子ども食堂及びフードパントリー・お弁当の配布の運営サポート活動をおこなった。子ども食堂をサポートするための運営者アンケートの実施、子ども食堂運営者との意見交換会や衛生管理研修会の開催、子ども食堂運営者の協力による衛生管理・安全管理動画の制作をおこなった。 また、子ども食堂への食材や金銭などの寄付、ボランティア、開設支援に対する相談などに対応した。特に寄付食材については昨年度より多くの食材をご寄付いただくことができ子ども食堂へ効率良く遅延なく食材を分配できるよう分配スキームの確立と配送のための人的体制強化を図った。 市内の子ども食堂を多くの方に知っていただき子ども食堂の理解を高め多くの支援につなげるため、子ども食堂マップの更新、子ども食堂紹介動画の制作、企業向けの子ども食堂説明会、食でつながるフェスタ in 北九州などを開催し、その結果、企業からの寄付食材、ボランティア、寄付金、寄付型自販機設置につながり子ども食堂の安定運営の一助となった。
6. 新型コロナウイルス感染拡大に対して、事業活動を行う際に工夫した点

新型コロナが少し落ち着いている時期に子ども食堂運営者との意見交換を開催し、各子ども食堂が新型コロナウイルスに対してどのように向き合って子ども食堂及びお弁当配布・フードパントリーをおこなったのかなど情報共有した。 また、衛生管理や安全管理等の研修会など対面による活動ができない時期もあったため、衛生管理・安全管理動画の制作をおこない見ていただけるように工夫などをおこなった。

② 広報に関する報告

1. シンボルマークの使用状況
☑自団体のウェブサイトで表示している　☑広報制作物に表示している ☐報告書に表示している　☑イベント実施時に表示している　☐その他 →「その他」を選択した場合は記載してください（自由記述）：
2. 広報
1.メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB 等） 西日本新聞（食でつながるフェスタ in 北九州） 2.広報制作物等 子ども食堂マップ（2021 年度版） 食でつながるフェスタ in 北九州　チラシ 子ども食堂開設支援動画、衛生管理・安全管理動画、子ども食堂紹介動画 3.報告書等 子ども食堂運営者アンケート調査結果報告書 4.イベント開催等（シンポジウム、フォーラム等） 子ども食堂説明会（北九州市 SDGs クラブ向け研修会） 子ども食堂運営者向け衛生管理研修会 食でつながるフェスタ in 北九州

④規程類の整備に関する報告

1. 事業期間に整備が求められている規程類の整備は完了しましたか。
☐完了　☑整備中

2.　整備が完了した規程類を web サイト上で広く一般公開していますか。
☑全て公開した　☐一部未公開　☐未公開 →「一部未公開」「未公開」を選択した場合の理由と公開予定日：
3.　変更があった規程類に関して資金分配団体に報告しましたか。
☐はい　　☐いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：

⑤ガバナンス・コンプライアンスに関する報告

1.　社員総会、理事会、評議会は定款の定める通りに開催されていますか。
☑はい　　☐いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：
2.　内部通報制度は整備されていますか。
☑はい　　☐いいえ →「はい」の場合の設置方法（複数選択可）：☑内部に窓口を設置　　☐外部に窓口を設置　　☐ JANPIA の窓口を利用
3.　利益相反防止のための自己申告を定期的に行っていますか。
☑はい　　☐いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：
4.　関連する規程の定めどおり情報公開を行っていますか
☑はい　　☐いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：
5.　コンプライアンス委員会は定期的に開催されていますか。

□はい　　☑いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：コンプライアンス委員会を招集するような事案がなく、特別に議題に挙げるような項目も無いため開催をしていない。
6.　報告年度の内部監査又は外部監査を実施予定ですか。（実施済みの場合含む）
☑内部監査を実施　　□外部監査を実施　　□実施する予定がない →「実施する予定がない」を選択した場合の理由：

添付資料

活動の写真（画像データは１枚２MG 以下、3～4 枚程度）

感染症対策をした子ども食堂開催風景

企業からのトマトの寄付

衛生管理研修実施風景

食でつながるフェスタ in 北九州